

令和8年2月6日  
東京都立目黒高等学校  
(学校評価委員会)

令和7年度 学校運営連絡協議会 学校評価

## 1. 学校評価の観点

学校評価アンケートについては、調査の継続性の観点から前年度までの内容を引き継ぐ設問を中心に作成し実施した。令和6年度の保護者の意見より、目黒高校の現状について「わからないものがある」との回答があったため、令和7年度は、保護者及び地域のアンケート回答項目に「⑤わからない」を追加した。評価の観点として下記の項目に分類し、各設問により学校評価を実施した。

- (1) 学校生活について
- (2) 授業・学習について
- (3) 進路指導について
- (4) 読書活動について
- (5) 体罰・いじめについて
- (6) ライフ・ワーク・バランスについて

## 2. アンケートの実施時期、対象等

No.	対象	実施期間	本年度回収率	昨年度回収率	実施方法
1	生徒	令和7年12月5日～令和8年1月11日	61%	62%	Microsoft Forms で実施 (無記名)
2	保護者	令和7年12月5日～令和8年1月11日	55%	38%	
3	教職員	令和7年12月5日～令和8年1月11日	72%	84%	
4	地域	令和7年12月5日～令和8年1月11日	15件	6件	

### (1) 回答率について

アンケートの回答率改善やアンケートの信頼性を高めるため、昨年度と同様に、「Microsoft Forms」を活用したオンラインアンケートを実施した。生徒に対してはLHRでの回答の呼びかけを行ったが、その割合は昨年度と同様の61%であった。保護者に対しては、classiを通じて回答の呼びかけを行ったが、その割合は昨年度より大幅に増加し55%となった。

教職員に対しては、管理職からの呼びかけを行ったが回答率が72%となり、目標の100%には到達できなかった。地域住民に対しては、どこに配布をしていたのか不明な状況であったため、目黒高校の外周に面した家屋に紙面にて配布をした。数はおおよそ100部であった。15件の回答があった。

次年度も引き続き「Microsoft Forms」を活用したオンラインアンケートを実施する。生徒に対しては、LHRを使ってより強く呼びかける必要がある。また、地域住民に対しても、アンケート配布の範囲を拡大するなどして回答率を増やせるだろう。

次年度は、生徒の回答率80%以上、保護者の回答率60%以上、教職員の回答率100%を目標としたい。

### (2) 回答率の向上について

生徒の回答率は前年度とまったく同じ割合となっている。生徒の場合はより強くLHR等で呼びかけること、実施日を調整し各学年が一斉に実施することで、回収率を上げられる可能性がある。

さらに、地域の方々には本校への関心の低さも影響しており、回答率を上げることは非常に困難といえる。入口付近の掲示板を活用し情報発信していきたい。

### 3. 学校評価アンケートの集計結果についての項目別分析

#### 【1】生徒による回答

##### (1) 学校生活について

1：そう思う 2：だいたいそう思う 3：あまりそう思わない 4：そう思わない  
(1～4以外の回答(該当なし)があったため、合計が100%にならない場合があります。)

学校生活に関する質問 ( )内は保護者・教職員への問	年度	生徒の回答 (%)			
		1	2	3	4
目黒高校での学校生活全般に満足している。 (生徒は、目黒高校での学校生活全般に満足している。)	R 7	50.0	43.8	5.2	0.9
	R 6	39.7	52.1	7.2	0.9
目黒高校では生徒の服装、頭髪、挨拶、遅刻、通学時のマナーなどの生活指導が行われている。	R 7	59.0	35.5	4.3	0.9
	R 6	51.9	43.7	3.0	1.4
学校行事や生徒会活動等において、生徒の「自主・自律(自立)の精神」を育てる取組がなされている。	R 7	42.9	44.8	9.5	2.6
	R 6	29.9	53.7	12.4	4.0
目黒高校は、部活動が活発に行われている。	R 7	61.2	33.2	3.6	0.9
	R 6	52.8	41.4	4.7	1.2
一斉清掃、ゴミの分別など、生徒による清掃や校内美化が行われている。	R 7	29.9	43.8	19.0	7.1
	R 6	19.4	42.5	29.0	8.9
生徒の悩みなどを担任などに相談しやすい雰囲気がありますか。 (生徒の悩みなどを聞く相談や個別面談が行われている。) (生徒の悩みなどを聞く相談のっていますか。)	R 7	39.1	47.9	10.4	2.4
	R 6	25.0	54.2	17.3	3.3
施設・設備が整備されており、学習環境が整っている。	R 7	32.7	46.2	15.2	5.5
	R 6	22.0	54.7	18.5	4.9

- 学校生活の満足度は、93%以上が肯定的な意見となっており、令和6年度より「1：そう思う」が10%以上、上昇している。様々な要因があるが、教職員と生徒の関わり方や行事での満足度、友人との関わり方など総合的に満足度が非常に高くなっているものと考ええる。
- 生活指導については、94%以上が肯定的な意見である。自由意見において、「校則が厳しすぎる」「挨拶を返してくれない先生がいる」「特定の生徒だけ優遇されていると感じる」といった、教職員の公平性や接遇への不満を述べる者もいる。
- 本校の教育目標である「自主・自律(自立)の精神」の育成については、87%以上が肯定的な意見となっており、「1：そう思う」が10%以上、上昇した。次年度は今年度以上に生徒の自主・自律(自立)を育むための計画的な指導や育成に向けた取組みを進めていきたい。
- 生徒の相談体制については、87%が肯定的な意見であるが、12%以上が否定的な意見である。今後さらに、生徒が教職員に相談しやすい雰囲気づくりと体制づくりが必要と感じる。
- 学習環境は、78%以上が肯定的であり、令和6年度より「1：そう思う」が10%以上、上昇しているが、20%以上は否定的である。令和7年度はエアコン改修工事が終了したが、自由意見において「温度調節ができるようにしてほしい」「柔剣道場にエアコンを設置してほしい」「ゴミ箱を設置してほしい」「テニスコートのネットを補修してほしい」などがあがっている。
- 校内美化については、73%以上が肯定的であり、令和6年度より10%以上、上昇した。生徒のみならず教職員も校内美化への意識を高め、施設の維持管理に努めたい。

(2) 授業・学習について

1：そう思う 2：だいたいそう思う 3：あまりそう思わない 4：そう思わない 5：わからない  
 (1～4以外の回答(該当なし)があったため、合計が100%にならない場合があります。)

授業に関する質問 ( ) 内は保護者・教職員への問	年度	生徒の回答 (%)			
		1	2	3	4
目黒高校の授業に満足している。 (生徒は、目黒高校の授業に満足している。)	R 7	33.9	49.8	14.7	1.7
	R 6	27.6	58.4	11.0	3.0
ICTの活用や対話的な授業(アクティブラーニング型)など授業が工夫されている。	R 7	38.2	44.5	12.8	4.3
	R 6	24.3	57.0	15.2	3.5
授業は進学や受験に向けた内容となっている。 (自分自身は、進学や受験に向けた内容を含めた授業を行っている。)	R 7	39.6	49.1	9.5	1.4
	R 6	25.7	59.1	12.4	2.6
授業に準備をして臨んでいる。 (生徒は、授業に準備をして臨んでいる)	R 7	37.2	50.2	10.2	1.9
	R 6	31.8	53.3	12.1	2.8
情報機器(teamsやロイロノート、Classi、iPadなど)の利用により、学習意欲が上がった。	R 7	38.6	36.3	18.0	6.6
	R 6	29.0	47.0	17.8	6.3
情報機器(teamsやロイロノート、Classi、iPadなど)の利用は学習以外の学校行事にも役に立っている。	R 7	50.7	39.8	5.9	3.3
	R 6	46.5	45.3	5.8	2.3

- 授業の満足度は、83%以上が肯定的な意見となっている。令和6年度より約3%減少した。しかし、進学・受験に向けた内容になっているかという設問において、88%以上が肯定的な意見となっており、3%上昇している。教職員は授業力向上のための研鑽を続けて、今後も生徒の進路実現につながる授業づくりを組織的に継続していく。
- 授業への取り組み姿勢として、準備して臨んでいるかという設問において、生徒は約87%が肯定的な意見となっている。生徒に「これで良い」「十分にやっている」と満足させるのではなく、教職員の適切な指導やアドバイスを行い、授業を一層効果あるものとする工夫が必要である。引き続き、生徒、保護者に家庭学習の大切さを意識させ、取り組ませる工夫等を図っていききたい。
- ICT機器やアクティブラーニング型授業など、教員の授業工夫については、82%以上が肯定的な意見となっており、年々微増している。自由意見では「能動的な授業(ペアワーク、プレゼン、グループ活動)をもっと増やすべき」との声も挙がった。ICT機器の効果的な活用やアクティブラーニング型授業を積極的に取り入れた教員が増えた考えられるが、ICT機器の活用やアクティブラーニング型授業の実践は学校経営計画の中でも記述されている本校の目標であり、次年度はより一層、対話的・主体的で深い学びを実現するために指導計画の検討、効果的な指導方法の研究・改善などを図っていききたい。
- 一人一台端末(iPad)の授業活用や活用による学習意欲の向上については74%以上、学習外での活用については、90%以上が肯定的である。自由意見では、「授業中のiPadの使用についてもっと厳しくすべき」との意見も生徒から出ている。授業中に授業以外のことで一人一台端末(iPad)を使用していることが見られるため、使用を制限できる方法を模索したい。

(3) 進路指導について

1 : そう思う 2 : だいたいそう思う 3 : あまりそう思わない 4 : そう思わない 5 : わからない  
(1～4以外の回答(該当なし)があったため、合計が100%にならない場合があります。)

進路に関する質問 ( )内は保護者・教職員への問	年度	生徒の回答 (%)			
		1	2	3	4
計画的な進路指導やキャリア教育が実施されている。	R7	37.2	54.0	7.3	1.4
	R6	28.5	57.9	11.7	1.6
年間を通して進路に関する情報が提供されている。	R7	46.4	48.3	3.6	0.9
	R6	36.9	55.1	6.5	1.2

○本校はキャリア教育については、91%以上と令和6年度より高くなっている。進路情報の提供については、94%以上と微増している。共通テストが始まって2年目となり、進路にかかわる情報提供がきちんと行われていると考えてよいと考える。進路指導部と各学年の担任団がそれぞれ必要な進路情報を生徒に提供できる体制をさらに強固なものにしていきたい。

(4) 読書活動について

1 : そう思う 2 : だいたいそう思う 3 : あまりそう思わない 4 : そう思わない 5 : わからない  
(1～4以外の回答(該当なし)があったため、合計が100%にならない場合があります。)

読書に関する質問 ( )内は保護者・教職員への問	年度	生徒の回答 (%)			
		1	2	3	4
読書活動などの言語活動の充実に向けた取り組みを行っている。	R7	26.3	36.8	27.5	10.2
	R6	13.3	38.6	36.0	12.1

○読書活動については、令和6年度と比べると、10%以上肯定的な意見が見られるようになった。学校の図書館では、生徒の読書率を上げるための様々な工夫がなされているが、世の中の紙媒体としての活字離れ等が影響していると考えられる。しかし、学校として紙の本に接することのプラス面を踏まえ、生徒のプラスになることを提供していく必要があるだろう。

(5) 体罰・いじめ対策について

1 : そう思う 2 : だいたいそう思う 3 : あまりそう思わない 4 : そう思わない 5 : わからない  
(1～4以外の回答(該当なし)があったため、合計が100%にならない場合があります。)

体罰・いじめに関する質問 ( )内は保護者・教職員への問	年度	生徒の回答 (%)			
		1	2	3	4
目黒高校は、体罰の防止や生徒への適切で丁寧な言葉かけに積極的に取り組んでいる。	R7	46.9	44.8	6.9	1.2
	R6	37.9	53.3	6.8	1.9

○体罰やいじめのない学校づくりについて、91%以上が肯定的な評価をしている。安全・安心な学校に対してその担い手の中心となる教職員が、体罰やいじめのない学校づくりに取り組んでいると思えることは大事なことである。しかし、人権にかかわる言動、法令遵守は毎年、指導を行う必要がある内容である。肯定的な意見が100%及び人の痛みや苦しみが理解できる生徒の育成を目指し、よりよい学校をつくりたい。

## 【2】保護者による回答

### (1) 学校生活について

1：そう思う 2：だいたいそう思う 3：あまりそう思わない 4：そう思わない 5：わからない  
(1～5以外の回答(該当なし)があったため、合計が100%にならない場合があります。)

学校生活に関する質問 ( )内は保護者・教職員への問	年度	保護者の回答 (%)				
		1	2	3	4	5
目黒高校での学校生活全般に満足している。 (生徒は、目黒高校での学校生活全般に満足している。)	R 7	43.2	51.2	3.6	1.8	1.0
	R 6	49.6	44.1	4.4	1.5	
目黒高校では生徒の服装、頭髪、挨拶、遅刻、通学時のマナーなどの生活指導が行われている。	R 7	39.7	47.3	6.3	1.3	7.0
	R 6	44.8	47.4	6.3	1.1	
学校行事や生徒会活動等において、生徒の「自主・自律(自立)の精神」を育てる取組がなされている。	R 7	39.1	46.8	6.1	1.5	5.9
	R 6	39.3	51.5	6.7	2.2	
目黒高校は、部活動が活発に行われている。	R 7	35.0	49.1	8.2	2.8	4.6
	R 6	41.5	45.2	10.4	2.6	
一斉清掃、ゴミの分別など、生徒による清掃や校内美化が行われている。	R 7	23.5	42.2	6.9	1.5	25.6
	R 6	24.1	63.0	11.9	0.4	
生徒の悩みなどを担任などに相談しやすい雰囲気がありますか。 (生徒の悩みなどを聞く相談や個別面談が行われている。) (生徒の悩みなどを聞く相談にのっていますか。)	R 7	26.9	47.8	7.7	1.3	15.9
	R 6	22.2	60.4	13.3	3.3	
施設・設備が整備されており、学習環境が整っている。	R 7	17.9	51.4	19.7	7.4	2.8
	R 6	15.6	56.3	21.9	5.6	

- 学校生活の満足度は、保護者は94%以上が肯定的な意見となっている。満足度が非常に高い。但し、「課題の多さ」や「授業内容」について数件の意見をいただいているので、意見を参考に今後も保護者の期待に応えられる学校、生徒と保護者が満足していると思える学校づくりを組織的に継続していく。
- 生活指導については、保護者ともに87%以上が肯定的な意見である。保護者からいただいた意見も参考にしながら、教職員間で生活指導の確認と見直しを進め、組織的で一貫した指導体制の構築が求められる。
- 本校の教育目標である「自主・自律(自立)の精神」の育成については、保護者は85%以上が肯定的な意見となっているが、保護者の要望に、教職員が生徒とのかかわりを求める意見が増えてきている。次年度は今年度以上に生徒の自主・自律(自立)を育むための計画的な指導や育成に向けた取組が必要となる。
- 生徒の相談体制については、保護者では肯定的な意見は74%以上である。否定的な意見は約16%から9%へと下がっている。今後も生徒・教職員共に忙しく慌ただしい日々の生活に、生徒が安心して相談できる校内体制、相談組織の構築が課題である。
- 学習環境については、昨年度と同等である。エアコンの改修を行ったが、自由意見には部分的にエアコンのない場所での夏場の暑さ、エアコンの故障の意見を多くいただいている。また、トイレの改修や自習場所の整備の意見も数件みられた。3学年生徒に向けては図書室を19時まで自習場所として開放したが、組織的な対応ができるかが課題となっている。
- 校内美化については、昨年度よりわからないと回答する保護者が多かったが、否定的な意見は約12%から約8%に減った。生徒が日々過ごす学校の校内美化、環境整備に向けて、教職員と生徒が主体的に改善し続ける意識、取組が必要である。

(2) 授業・学習について

1：そう思う 2：だいたいそう思う 3：あまりそう思わない 4：そう思わない 5：わからない  
(1～5以外の回答(該当なし)があったため、合計が100%にならない場合があります。)

授業に関する質問 ( )内は保護者・教職員への問	年度	保護者の回答 (%)				
		1	2	3	4	5
目黒高校の授業に満足している。 (生徒は、目黒高校の授業に満足している。)	R 7	23.5	55.0	12.5	1.8	6.6
	R 6	24.8	64.1	9.6	1.5	
ICTの活用や対話的な授業(アクティブラーニング型)など授業が工夫されている。	R 7	19.9	44.2	9.2	2.3	23.8
	R 6	21.5	65.9	10.4	1.9	
授業は進学や受験に向けた内容となっている。 (自分自身は、進学や受験に向けた内容を含めた授業を行っている。)	R 7	24.6	47.1	12.0	1.0	14.8
	R 6	26.3	60.0	10.7	2.6	
情報機器(teamsやロイロノート、Classi、iPadなど)の利用により、学習意欲が上がった。	R 7	21.0	43.2	17.6	6.6	11.3
	R 6	20.7	53.3	20.0	5.6	
情報機器(teamsやロイロノート、Classi、iPadなど)の利用は学習以外の学校行事にも役に立っている。	R 7	27.6	48.8	9.2	3.3	10.5
	R 6	31.1	53.0	11.5	4.1	

○授業の満足度は、保護者の78%以上が肯定的な意見となっているが、否定的な意見が14%以上となり、昨年度と比べて微増している。さらに、進学・受験に向けた内容になっているかという設問においては71%以上が肯定的な意見となっており、激減しているが、否定的な意見が約13%で同等である。わからないと回答した保護者が約15%と多い。保護者としては大学進学実績を見なければわからないということが本音ではないだろうか。今後も生徒、保護者の期待に応え、進路実現につながる授業づくりを組織的に継続していく。

○ICT機器やアクティブラーニング型授業など、教員の授業工夫については、保護者の64%以上が肯定的な意見となっており、激減しているが、否定的な意見が約11%と微減、わからないと回答した保護者が約24%となっている。生徒からの回答は82%以上が肯定的な意見であるため授業の行い方は、生徒が家庭で話していなければ保護者に伝わりにくい内容でもあると考える。

ICT機器の活用やアクティブラーニング型授業の実践は学校経営計画の中でも記述されている本校の目標であり、次年度もより一層、対話的・主体的で深い学びを実現するために指導計画の検討、効果的な指導方法の研究・改善などを図っていくことが求められる。

○一人一台端末(iPad)の授業活用や活用による学習意欲の向上、学習外での活用については、保護者は約65%以上の肯定的な意見であるが、否定的な意見は約24%で昨年度と同等である。自由意見では、情報機器の仕様の仕方に制限がないため、「学習以外での使用時間が長い」、「学習時間の低下につながっている」との意見も見られた。端末を学校の教育活動全般で活用し、教育効果を高めていけるよう、さらに計画的な活用について指導の仕方の工夫が求められる。

(3) 進路指導について

1：そう思う 2：だいたいそう思う 3：あまりそう思わない 4：そう思わない 5：わからない  
(1～5以外の回答(該当なし)があったため、合計が100%にならない場合があります。)

進路に関する質問 ( )内は保護者・教職員への問	年度	保護者の回答 (%)				
		1	2	3	4	5
計画的な進路指導やキャリア教育が実施されている。	R 7	26.6	52.7	9.0	2.0	9.5
	R 6	27.8	57.8	11.5	2.2	
年間を通して進路に関する情報が提供されている。	R 7	28.1	48.1	13.0	1.8	8.4
	R 6	25.2	57.0	14.8	2.2	

○本校はキャリア教育に力を入れており、3年間を見据えたキャリア計画に基づきながら進路指導部中心に、各年次・担任と連携を図りながら進路指導を行っている。保護者はその成果を感じている結果、79%が肯定的な意見となっている。さらに、進路に関する情報が提供されていると肯定的な意見は76%となっているが、否定的な意見は15%と微減しており、概ね例年通りと考えてよいのではないだろうか。

学校での進路指導は保護者にはなかなか見えにくい現状のなかで、この値は進路に不安を抱える保護者に対しても、本校の進路指導を理解していただけているのではないだろうか。引続き進路実現に向けて、classi や保護者会での情報提供、生徒、保護者とのコミュニケーションを丁寧に行いながら、生徒一人一人に寄り添った指導を展開していくことを継続する。

(4) 読書活動について

1：そう思う 2：だいたいそう思う 3：あまりそう思わない 4：そう思わない 5：わからない  
(1～5以外の回答(該当なし)があったため、合計が100%にならない場合があります。)

読書に関する質問 ( )内は保護者・教職員への問	年度	保護者の回答 (%)				
		1	2	3	4	5
読書活動などの言語活動の充実に向けた取り組みを行っている。	R 7	14.6	35.8	15.1	4.1	29.9
	R 6	14.1	51.1	30.0	4.1	

○読書活動については、保護者の肯定的な意見は約50%と決して高くはない。しかし、昨年度と比べると、否定的な意見が19%と激減している。図書館では、生徒の読書率を上げるための工夫が色々と施されている。また、授業においても、言語活動を意識した授業内容や展開を行う教員も増えている。引続き、読書活動や言語活動が充実していくよう、学校としての積極的な取り組みが課題である。

(5) 体罰・いじめ対策について

1：そう思う 2：だいたいそう思う 3：あまりそう思わない 4：そう思わない 5：わからない  
 (1～5以外の回答(該当なし)があったため、合計が100%にならない場合があります。)

体罰・いじめに関する質問 ( )内は保護者・教職員への問	年度	保護者の回答 (%)				
		1	2	3	4	5
目黒高校は、体罰の防止や生徒への適切で丁寧な言葉かけに積極的に取り組んでいる。	R7	26.6	47.8	4.3	1.5	19.4
	R6	31.9	60.0	5.6	1.9	

○体罰やいじめのない学校づくりについて、保護者は肯定的な評価が約74%を超えている。わからないと回答した保護者は約6%と微減しており、わからないが約19%である。次年度以降、教職員は言動に細心の注意を払い、生徒・保護者にとって安心・安全な学校づくりに向け、些細な問題でも早期に気が付き対応することを心掛け、よりよい環境を整えていく必要がある。

(6) ライフ・ワーク・バランスについて

1：そう思う 2：だいたいそう思う 3：あまりそう思わない 4：そう思わない 5：わからない  
 (1～5以外の回答(該当なし)があったため、合計が100%にならない場合があります。)

ライフ・ワーク・バランスに関する質問	年度	保護者の回答 (%)				
		1	2	3	4	5
国や東京都が働き方改革に取り組んでいることを知っていますか	R7	44.2	37.9	5.4	1.8	10.5
	R6	48.1	41.1	8.9	1.9	

○ライフ・ワーク・バランスについての項目は、保護者の肯定的な回答が82%以上となり、昨年度と同等であろう。自由意見では、「教職員の生徒への対応に対して感謝の言葉」とともに、「教職員への体調面の心配」を述べる意見もあり、働く時間とプライベートの時間のバランスをとることが難しくなっている教職員がいることも事実であろう。保護者には見えにくい項目であるため、管理職による働きかけとともに、一人一人の教職員が働きやすい環境整備に努めて、教職員も働き方を意識し、業務の効率化に取り組んでいくことが求められる。

### 【3】教職員による回答

#### (1) 学校生活について

1：そう思う 2：だいたいそう思う 3：あまりそう思わない 4：そう思わない

学校生活に関する質問 ( )内は保護者・教職員への問	年度	教職員の回答 (%)			
		1	2	3	4
目黒高校での学校生活全般に満足している。 (生徒は、目黒高校での学校生活全般に満足している。)	R 7	16.1	83.9	0.0	0.0
	R 6	10.6	87.2	2.1	0.0
目黒高校では生徒の服装、頭髪、挨拶、遅刻、通学時のマナーなどの生活指導が行われている。	R 7	48.4	48.4	3.2	0.0
	R 6	29.8	46.8	17.0	6.4
学校行事や生徒会活動等において、生徒の「自主・自律（自立）の精神」を育てる取組がなされている。	R 7	38.7	54.8	6.5	0.0
	R 6	25.5	57.4	14.9	0.0
目黒高校は、部活動が活発に行われている。	R 7	48.4	51.6	0.0	0.0
	R 6	31.9	57.4	10.6	0.0
一斉清掃、ゴミの分別など、生徒による清掃や校内美化が行われている。	R 7	12.9	71.0	16.1	0.0
	R 6	17.0	57.4	25.5	0.0
生徒の悩みなどを担任などに相談しやすい雰囲気がありますか。 (生徒の悩みなどを聞く相談や個別面談が行われている。) (生徒の悩みなどを聞く相談にのっていますか。)	R 7	48.4	45.2	6.5	0.0
	R 6	34.0	61.7	4.3	0.0
施設・設備が整備されており、学習環境が整っている。	R 7	12.9	54.8	25.8	6.5
	R 6	4.3	46.8	42.6	6.4

- 学校生活の満足度は、生徒たちの側にいる教員側の感じ方ではあるが 100%に達し満足度が高いと感じている。生徒たちからは少数意見として校則の見直しや教科からの課題の多さ等は出ているものの、全校生徒の課題とはならず、クラスでの様子や各行事への参加状況を見ていると楽しそうに学校生活を過ごしている生徒が多く見受けられる。
- 生活指導については、令和6年度は評価の数値が下がったが、令和7年度は生活指導部を中心に指導の徹底が教員間に再認識され指導した結果、数値の上昇が見られた。今後は地域の方から意見をいただいている登校時のマナーの向上を定着させていく点が課題となる。
- 本校の教育目標である「自主・自律（自立）の精神」については、各行事を生徒中心に盛り上げてきたという教員間の意識が大きい。生徒主体の活動を支える体制作りが教化されている。例年通りの形式的な活動を良しとしない生徒の気持ちを大切に、生徒が“自ら考え、行動していく”その環境作りを多く設けていきたい。
- 生徒の相談体制については、昨年度よりは微減しているものの、多忙な日々には生徒への相談体制の時間を確保している教員が多くいる数値 93%以上である。担任をはじめ、養護教諭への体調不良の相談、その後内容によっては SC へ繋げる体制を整えている。現在 SC は非常勤ではあるが 2 人体制でおこなっており、相談生徒を待たせることはなくなっている。また、保護者からの相談も SC は受けており、家庭での生徒の悩みを相談に来られる保護者も少なくはない。
- 学習環境については、今年度エアコンの回収が終了したため教室・特別教室での授業が真夏・真冬共に室温を気にすることなく受けられる環境が整った。ただ本校は 30 年の建物であるために他の施設の不満が上がってきている。自動センサーの照明や水栓になったものの生徒からはトイレ自体の改修の要望が出ている。教員からも校内に設置されているクラスにより Wi-Fi の弱さが問題として挙げられており、段階的な改善が課題となる。

○校内美化は年々改善傾向にある。本校は自分のゴミは持帰りが基本のルールになっている。コロナ禍以降クラス内にゴミ箱の設置をしていないことが、校内でのゴミ処理の徹底につながっていると考えられる。但し学習面で出てしまうゴミは、1階のピロティにごみ箱大があり、教室にもミニごみ箱が教卓の横に置かれている。生徒からのゴミ箱設置の要望は多々あるが、まずはしっかり分別ができる習慣をつけてからの検討となるであろう。また、日常の教室清掃に意識の差があるようなので学習環境を整える点からも放課後にしっかり 取組むことが必要になる。

それぞれに上記のような分析ではあるが、生徒・保護者ともにいろいろなご意見をいただいているので、そのご意見を参考にしながら、生徒と教員間で納得がいく学校生活の課題・改善を行っていく必要がある。

## (2) 授業・学習について

1：そう思う 2：だいたいそう思う 3：あまりそう思わない 4：そう思わない

授業に関する質問 ( ) 内は保護者・教職員への問	年度	教職員の回答 (%)			
		1	2	3	4
目黒高校の授業に満足している。 (生徒は、目黒高校の授業に満足している。)	R7	16.1	83.9	0.0	0.0
	R6	8.5	85.1	6.4	0.0
ICTの活用や対話的な授業(アクティブラーニング型)など授業が工夫されている。	R7	22.6	74.2	3.2	0.0
	R6	27.7	68.1	2.1	0.0
授業は進学や受験に向けた内容となっている。 (自分自身は、進学や受験に向けた内容を含めた授業を行っている。)	R7	51.6	48.4	0.0	0.0
	R6	42.6	55.3	0.0	0.0
授業に準備をして臨んでいる。 (生徒は、授業に準備をして臨んでいる)	R7	12.9	45.2	41.9	0.0
	R6	8.5	53.2	36.2	0.0
情報機器 (teamsやロイロノート、Classi、iPadなど) の利用により、学習意欲が上がった。	R7	9.7	54.8	29.0	6.5
	R6	12.8	40.4	38.3	6.4
情報機器 (teamsやロイロノート、Classi、iPadなど) の利用により、授業改善が進んだ。	R7	25.8	51.6	16.1	6.5
	R6	14.9	53.2	25.5	0.0
情報機器 (teamsやロイロノート、Classi、iPadなど) の利用は学習以外の学校行事にも役に立っている。	R7	32.3	58.1	3.2	6.5
	R6	34.0	55.3	6.4	0.0

○授業の満足度は、教員の授業満足度は高く、授業改善努力が生徒の学力の伸びに繋がっている。ただ、授業の進度のペースを遅く感じるや内容が難しく授業についていけないことを回答してきた生徒への対応、生徒全員が納得できる授業の在り方を考える必要がある。一人一台端末 (iPad) の利用については、授業内での使用頻度には教科により差があり、資料等の活用が必要な教科はより有効に使用している。

○ICT 機器やアクティブラーニング型授業については、令和7年度にかけて ICT の活用やアクティブラーニング型の授業を取入れる教員は大幅に増えている。教員の授業改善努力は常に行われている。定着のしている教科も増えてきている。しかしながら、ICT 機器利用をしながら、受験に向けての学習の取組という点においては、ICT 機器利用が向いていない教科もあり、従来通りの黒板への板書を中心の行っている教科はある。学校経営計画に挙げられている対話型授業アクティブラーニングについては学力向上効果をねらい各教科定着してきており、96%以上となったが、自由意見では、生徒・保護者よりもっとアクティブラーニング型授業を実施してほしいとの意見もあった。

(3) 進路指導について

1 : そう思う 2 : だいたいそう思う 3 : あまりそう思わない 4 : そう思わない

進路に関する質問 ( ) 内は保護者・教職員への問	年度	教職員の回答 (%)			
		1	2	3	4
計画的な進路指導やキャリア教育が実施されている。	R 7	51.6	48.4	0.0	0.0
	R 6	29.8	68.1	2.1	0.0
年間を通して進路に関する情報が提供されている。	R 7	54.8	41.9	3.2	0.0
	R 6	44.7	53.2	2.1	0.0

○本校はキャリア教育に力を入れており3年間を見据えた計画に基づきながら進路指導部を中心に担任と連携を図りながら、1・2学期にはテスト後に保護者を交えた面談を入れており、各生徒の生活状況進路の流れを確認しながら進路指導を行っている。

(4) 読書活動について

1 : そう思う 2 : だいたいそう思う 3 : あまりそう思わない 4 : そう思わない

読書に関する質問 ( ) 内は保護者・教職員への問	年度	教職員の回答 (%)			
		1	2	3	4
読書活動などの言語活動の充実に向けた取り組みを行っている。	R 7	19.4	64.5	16.1	0.0
	R 6	6.4	46.8	38.3	8.5

○読書活動については、昨年度より肯定感が伸びている。1学年での取組が定着してきた結果から読書率が上がってきている。また図書館を自習部屋となっており、静かに学習と読書を行う環境が整っている。

(5) 体罰・いじめ対策について

1 : そう思う 2 : だいたいそう思う 3 : あまりそう思わない 4 : そう思わない

体罰・いじめに関する質問 ( ) 内は保護者・教職員への問	年度	教職員の回答 (%)			
		1	2	3	4
目黒高校は、体罰の防止や生徒への適切で丁寧な言葉かけに積極的に取り組んでいる。	R 7	35.5	64.5	0.0	0.0
	R 6	27.7	68.1	4.3	0.0

○体罰やいじめのない学校づくりについては、対策に取り組んでいる教員が100%に達している。校内で定期的に教員への体罰・いじめ対策のアンケートが取られており、教員の意識改善に繋がっている。保護者より生徒の不調の連絡を受けた場合には、管理職への報告を行うこと、担任を中心として養護教諭・SCとの連携を行い些細な問題でも早期対策を行う環境は整っている。生徒・保護者そして教員にとっても安心・安全な学校づくりに取り組んでいる。

(6) ライフ・ワーク・バランスについて

1 : そう思う 2 : だいたいそう思う 3 : あまりそう思わない 4 : そう思わない

ライフ・ワーク・バランスに関する質問	年度	教職員の回答 (%)			
		1	2	3	4
自分自身は、計画的な仕事の進め方により業務の効率化を図り、ライフワークバランス(LWB)の実現を図っている。	R7	9.7	64.5	16.1	9.7
	R6	12.8	51.1	31.9	4.3
(主幹教諭) 学年・分掌業務において、LWB実現を図っている。 (主任教諭・教諭) 管理職や分掌主任は、LWB実現の働きかけをしている。	R7	14.9	55.3	12.8	8.5
	R6	14.9	55.3	12.8	8.5

○ライフ・ワーク・バランスについては、他のアンケートのような肯定的な数字は出ていない。肯定率は上がってきているが、個人の努力だけでは実現が難しい面もあるため、学校全体で働き方について考え改善に向かいたい。

## 【4】生徒・保護者・教職員、それぞれの質問の回答

### (1) 学校生活について

1：そう思う 2：だいたいそう思う 3：あまりそう思わない 4：そう思わない 5：わからない  
(1～5以外の回答(該当なし)があったため、合計が100%にならない場合があります。)

学校生活に関する質問 ( )内は保護者・教職員への問	年度	生徒の回答 (%)				保護者の回答 (%)					教職員の回答 (%)			
		1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
目黒高校での学校生活全般に満足している。 (生徒は、目黒高校での学校生活全般に満足している。)	R7	50.0	43.8	5.2	0.9	43.2	51.2	3.6	1.8	1.0	16.1	83.9	0.0	0.0
	R6	39.7	52.1	7.2	0.9	49.6	44.1	4.4	1.5		10.6	87.2	2.1	0.0
目黒高校では生徒の服装、頭髮、挨拶、遅刻、通学時のマナーなどの生活指導が行われている。	R7	59.0	35.5	4.3	0.9	39.7	47.3	6.3	1.3	7.0	48.4	48.4	3.2	0.0
	R6	51.9	43.7	3.0	1.4	44.8	47.4	6.3	1.1		29.8	46.8	17.0	6.4
学校行事や生徒会活動等において、生徒の「自主・自律(自立)の精神」を育てる取組がなされている。	R7	42.9	44.8	9.5	2.6	39.1	46.8	6.1	1.5	5.9	38.7	54.8	6.5	0.0
	R6	29.9	53.7	12.4	4.0	39.3	51.5	6.7	2.2		25.5	57.4	14.9	0.0
目黒高校は、部活動が活発に行われている。	R7	61.2	33.2	3.6	0.9	35.0	49.1	8.2	2.8	4.6	48.4	51.6	0.0	0.0
	R6	52.8	41.4	4.7	1.2	41.5	45.2	10.4	2.6		31.9	57.4	10.6	0.0
一斉清掃、ゴミの分別など、生徒による清掃や校内美化が行われている。	R7	29.9	43.8	19.0	7.1	23.5	42.2	6.9	1.5	25.6	12.9	71.0	16.1	0.0
	R6	19.4	42.5	29.0	8.9	24.1	63.0	11.9	0.4		17.0	57.4	25.5	0.0
生徒の悩みなどを担任などに相談しやすい雰囲気がありますか。 (生徒の悩みなどを聞く相談や個別面談が行われている。) (生徒の悩みなどを聞く相談のついでですか。)	R7	39.1	47.9	10.4	2.4	26.9	47.8	7.7	1.3	15.9	48.4	45.2	6.5	0.0
	R6	25.0	54.2	17.3	3.3	22.2	60.4	13.3	3.3		34.0	61.7	4.3	0.0
施設・設備が整備されており、学習環境が整っている。	R7	32.7	46.2	15.2	5.5	17.9	51.4	19.7	7.4	2.8	12.9	54.8	25.8	6.5
	R6	22.0	54.7	18.5	4.9	15.6	56.3	21.9	5.6		4.3	46.8	42.6	6.4

### (2) 授業・学習について

1：そう思う 2：だいたいそう思う 3：あまりそう思わない 4：そう思わない 5：わからない  
(1～5以外の回答(該当なし)があったため、合計が100%にならない場合があります。)

授業に関する質問 ( )内は保護者・教職員への問	年度	生徒の回答 (%)				保護者の回答 (%)					教職員の回答 (%)			
		1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
目黒高校の授業に満足している。 (生徒は、目黒高校の授業に満足している。)	R7	33.9	49.8	14.7	1.7	23.5	55.0	12.5	1.8	6.6	16.1	83.9	0.0	0.0
	R6	27.6	58.4	11.0	3.0	24.8	64.1	9.6	1.5		8.5	85.1	6.4	0.0
ICTの活用や対話的な授業(アクティブラーニング型)など授業が工夫されている。	R7	38.2	44.5	12.8	4.3	19.9	44.2	9.2	2.3	23.8	22.6	74.2	3.2	0.0
	R6	24.3	57.0	15.2	3.5	21.5	65.9	10.4	1.9		27.7	68.1	2.1	0.0
授業は進学や受験に向けた内容となっている。 (自分自身は、進学や受験に向けた内容を含めた授業を行っている。)	R7	39.6	49.1	9.5	1.4	24.6	47.1	12.0	1.0	14.8	51.6	48.4	0.0	0.0
	R6	25.7	59.1	12.4	2.6	26.3	60.0	10.7	2.6		42.6	55.3	0.0	0.0
授業に準備をして臨んでいる。 (生徒は、授業に準備をして臨んでいる)	R7	37.2	50.2	10.2	1.9						12.9	45.2	41.9	0.0
	R6	31.8	53.3	12.1	2.8						8.5	53.2	36.2	0.0
情報機器 (teamsやロイロノート、Classi、iPadなど) の利用により、学習意欲が上がった。	R7	38.6	36.3	18.0	6.6	21.0	43.2	17.6	6.6	11.3	9.7	54.8	29.0	6.5
	R6	29.0	47.0	17.8	6.3	20.7	53.3	20.0	5.6		12.8	40.4	38.3	6.4
情報機器 (teamsやロイロノート、Classi、iPadなど) の利用により、授業改善が進んだ。	R7										25.8	51.6	16.1	6.5
	R6										14.9	53.2	25.5	0.0
情報機器 (teamsやロイロノート、Classi、iPadなど) の利用は学習以外の学校行事にも役に立っている。	R7	50.7	39.8	5.9	3.3	27.6	48.8	9.2	3.3	10.5	32.3	58.1	3.2	6.5
	R6	46.5	45.3	5.8	2.3	31.1	53.0	11.5	4.1		34.0	55.3	6.4	0.0

(3) 進路指導について

1 : そう思う 2 : だいたいそう思う 3 : あまりそう思わない 4 : そう思わない 5 : わからない  
(1～5以外の回答(該当なし)があったため、合計が100%にならない場合があります。)

進路に関する質問 ( )内は保護者・教職員への問	年度	生徒の回答 (%)				保護者の回答 (%)					教職員の回答 (%)			
		1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
計画的な進路指導やキャリア教育が実施されている。	R7	37.2	54.0	7.3	1.4	26.6	52.7	9.0	2.0	9.5	51.6	48.4	0.0	0.0
	R6	28.5	57.9	11.7	1.6	27.8	57.8	11.5	2.2		29.8	68.1	2.1	0.0
年間を通して進路に関する情報が提供されている。	R7	46.4	48.3	3.6	0.9	28.1	48.1	13.0	1.8	8.4	54.8	41.9	3.2	0.0
	R6	36.9	55.1	6.5	1.2	25.2	57.0	14.8	2.2		44.7	53.2	2.1	0.0

(4) 読書活動について

1 : そう思う 2 : だいたいそう思う 3 : あまりそう思わない 4 : そう思わない 5 : わからない  
(1～5以外の回答(該当なし)があったため、合計が100%にならない場合があります。)

読書に関する質問 ( )内は保護者・教職員への問	年度	生徒の回答 (%)				保護者の回答 (%)					教職員の回答 (%)			
		1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
読書活動などの言語活動の充実に向けた取り組みを行っている。	R7	26.3	36.8	27.5	10.2	14.6	35.8	15.1	4.1	29.9	19.4	64.5	16.1	0.0
	R6	13.3	38.6	36.0	12.1	14.1	51.1	30.0	4.1		6.4	46.8	38.3	8.5

(5) 体罰・いじめ対策について

1 : そう思う 2 : だいたいそう思う 3 : あまりそう思わない 4 : そう思わない 5 : わからない  
(1～5以外の回答(該当なし)があったため、合計が100%にならない場合があります。)

体罰・いじめに関する質問 ( )内は保護者・教職員への問	年度	生徒の回答 (%)				保護者の回答 (%)					教職員の回答 (%)			
		1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
目黒高校は、体罰の防止や生徒への適切で丁寧な言葉かけに積極的に取り組んでいる。	R7	46.9	44.8	6.9	1.2	26.6	47.8	4.3	1.5	19.4	35.5	64.5	0.0	0.0
	R6	37.9	53.3	6.8	1.9	31.9	60.0	5.6	1.9		27.7	68.1	4.3	0.0

(6) ライフ・ワーク・バランスについて

1 : そう思う 2 : だいたいそう思う 3 : あまりそう思わない 4 : そう思わない 5 : わからない  
(1～5以外の回答(該当なし)があったため、合計が100%にならない場合があります。)

ライフ・ワーク・バランスに関する質問	年度	生徒の回答 (%)				保護者の回答 (%)					教職員の回答 (%)			
		1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
自分自身は、計画的な仕事の進め方により業務の効率化を図り、ライフワークバランス(LWB)の実現を図っている。	R7										9.7	64.5	16.1	9.7
	R6										12.8	51.1	31.9	4.3
(主幹教諭) 学年・分掌業務において、LWB実現を図っている。 (主任教諭・教諭) 管理職や分掌主任は、LWB実現の働きかけをしている。	R7										14.9	55.3	12.8	8.5
	R6										14.9	55.3	12.8	8.5

## 【5】地域住民による回答

1 : そう思う 2 : だいたいそう思う 3 : あまりそう思わない 4 : そう思わない 5 : わからない  
 1 : 知っている 2 : 知らない

質問	年度	1	2	3	4	5
目黒高校の生徒は、服装、挨拶、通学時のマナーなどの生活態度がしっかりしている。	R7	46.7	26.7	26.7	0.0	0.0
	R6	33.3	33.3	16.7	16.7	
目黒高校は、生徒の学力向上に努めている。	R7	13.3	6.7	0.0	0.0	80.0
	R6	50.0	16.7	16.7	16.7	
目黒高校は、部活動が活発に行われている。	R7	40.0	33.3	0.0	0.0	26.7
	R6	66.7	16.7	16.7	0.0	
目黒高校は、地域に根ざした教育活動が行われている。	R7	26.7	0.0	13.3	0.0	60.0
	R6	33.3	33.3	0.0	33.3	

		知っている	知らない
国や東京都が「働き方改革」に取り組んでいる	R7	53.3	40.0
	R6	83.3	16.7
目黒高校のホームページを見たことがある	R7	40.0	60.0
	R6	33.3	66.7

- 「目黒高校の生徒は、服装、挨拶、通学時のマナーなどの生活態度がしっかりしている」については昨年度より全体的に肯定的意見が増えた。
- 「目黒高校は、生徒の学力向上に努めている」については「わからない」という選択肢を設けた今年度は80%がそれを選択しており、この質問に関しては地域の方々には答えにくい質問になっている。
- 「目黒高校は、部活動が活発に行われている」に関しては、昨年同様7～8割が肯定的意見になっている。
- 「目黒高校は、地域に根ざした教育活動が行われている」に関して、「わからない」という選択肢が半分以上を占める結果になっている。
- 「国や東京都が「働き方改革」に取り組んでいる」「目黒高校のホームページを見たことがある」に関しては令和6年度と比べてばらつきがある。
- 「目黒高校のホームページを見たことがある」に関しては令和6年度と変化はあまりない。
- 全体的に肯定的な評価をしていただいているが、生徒の登下校時の様子や、遅い時間に行内の電気がついている、騒音など近隣トラブルになりうる内容等、地域との共生という視点を学校全体で認識しつつ教育活動を行っていくことが大事であるだろう。
- オンラインでのアンケート回答と、紙での提出を併用した。QRコードからアンケート画面に移動し、パソコンや携帯電話で手軽に回答することができる。およそ100部配布したにも関わらず、回答数は15件であった。配付の枚数を増やすか検討したい。
- 生徒の生活態度に対して、昨年度は約67%となっているが、今年度は約73%であった。生活態度に対してよく思わない人が一定数いるため、引き続き、生徒への指導を徹底し、地域の方々から認められる目黒高校、目黒高校生を目指していく。

